

1 学校教育目標

「豊かな人間性と自主的精神に支えられたたくましい実践力のある生徒の育成」

豊かな人間性 : 生命を尊ぶ心、感謝する心、友を愛する心など

自主的精神 : 広い視野に立って何事にも進んで取り組もうとする意欲

→ **たくましい実践力** : これからの時代を生きる強い精神力と行動力



「自立」した人間として、他者と「協働」しながら「社会参画」していく力

2 めざす生徒像（校訓）

- 自ら考え、進んで学び合う生徒（自主）
- 思いやりの心を持ち、お互いの良さを認め合う生徒（敬愛）
- 自らを律し、鍛え高め合う生徒（剛健）

3 経営方針

- (1) 人権教育、キャリア教育を基底にして、「つながり合う心」の育成を柱にした学校経営の充実を図る。
- (2) 職員の共通理解を図り、全職員の力を集結して教育目標の具現化を図る。
- (3) 生徒が主体となる活動の充実を図り、集団のよさが発揮される学年、学級経営に努める。
- (4) 特別支援教育の視点で生徒理解を深め、信頼関係を基盤としたきめ細やかな生徒指導に努める。
- (5) 職員が生徒のためのモデルとなり、礼儀作法や時間の厳守、言葉遣い等、ふるまいの向上をめざす。
- (6) 家庭や地域、関係機関との連携を深め、共に生徒を育てる教育環境づくりに努める。

4 本年度の重点目標

(1) 確かな学力の育成と学び合う集団づくり

- ①授業のきまりを守り、互いに尊重し合う学習集団をつくる。
- ②分かる喜びとできる楽しさを感じさせ、学習習慣を身に付け、基礎学力の定着を図る。
- ③「主体的・対話的で深い学び」の視点に立った授業改善に取り組む。特に、つながり合う学習活動を工夫し、考えを広げ深めるとともに表現力を高める。
- ④ICT機器を効果的に活用した学習活動を工夫し、思考力・判断力・表現力の育成や学ぶ意欲の向上につなげる。

(2) 「ひと・もの・こと」を大切にする心の育成

- ①小さな成功体験を積み重ねる場を設定し、自尊感情や自己有用感を育てる。
- ②人権教育の視点をすべての教育活動に取り入れ、相手を思いやり、仲間とよい人間関係を築こうとする心を育てる。
- ③道徳科の授業を充実させ、豊かな人間性の育成に取り組む。
- ④地域の自然・歴史・文化・伝統・産業の価値に気づき、地域のよさを感じる心を育てる。

(3) 将来に向けて自らの夢や希望を育む心の育成

- ①キャリア教育の視点を取り入れた教育活動を推進し、**社会とのつながりを意識し、社会の一員としての役割を果たしていこうとする心情**を育てる。
- ②生徒会活動や学校行事、部活動等を通して自治的な活動を推進していく力を育てる。
- ③将来への希望をもち、主体的な進路選択ができる力を育てる。
- ④地域行事への積極的な参加を促し、**地域に貢献しようとする意識**を高める。

(4) 生活習慣とルール・マナーの確立

- ①**基本的な生活習慣の確立**と健康な体づくりに努める力を育てる。
- ②**メディアとの適切な関わり方を自発的に身に付ける取組**を推進する。
- ③ルールやマナーを共有し身に付ける活動を推進する。

(5) 保護者・地域との連携

- ①学校の取組の様子がわかる情報を積極的に発信する。
- ②保護者の願いを受け止め、連携して共に生徒を育てる取組を推進する。
- ③地域学校協働本部との連携を深め、地域の願いを受け止めながら地域の教育資源を生かす。
- ④学校運営協議会等を利用した地域とともにある学校づくりを推進する。